

古代寺院建築の研究

鈴木嘉吉（元奈良文化財研究所長）著

本体価格三三、〇〇〇円＋税

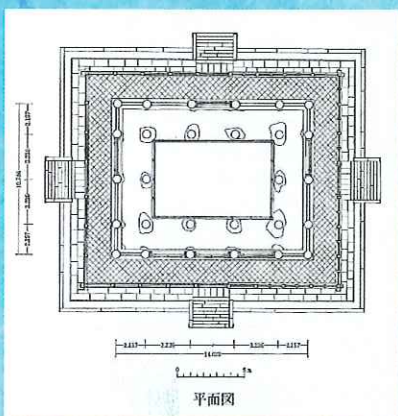
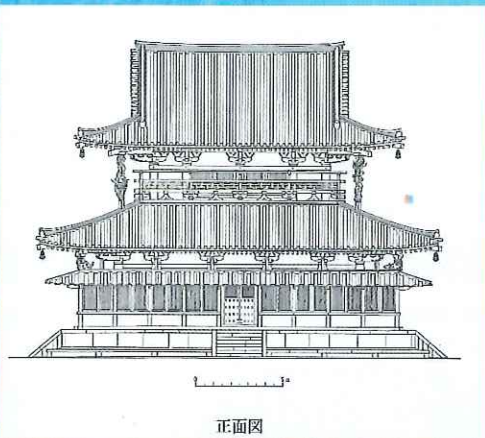
B5判上製函入 本文五八〇頁 挿図三三二点 ISBN 978-4-8055-0763-6 C3052

日本古代仏教建築史研究における泰斗、

鈴木嘉吉博士の初の論集（全二巻）の第二冊

第一冊『古代寺院僧房の研究』（既刊）は、一貫して元興寺・法隆寺・唐招提寺・東大寺などの古代寺院の僧侶の生活空間である僧房の遺構の復原研究や、興福寺・薬師寺などの発掘調査や古記録などの資料から古代の「僧房」の住宅史の実体を明らかにした記念碑的労作である。

本巻『古代寺院建築の研究』は、一転して飛鳥・白鳳時代、平安時代以降、古代建築の構造などの章立てで、明治期以来懸案の法隆寺の再建非再建論争について独自の新再建論を提示し、また薬師寺の移建の経緯などを語り、また永年の古代建築の解体修理に携わった得難い経験と歴史観から、学界に新たな刺激的提案をし続けた鈴木建築史学の詳細を提示する。



法隆寺金堂正面図・平面図

中央公論美術出版

お取り扱いは

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

鈴木嘉吉建築史論集

古代寺院建築の研究

鈴木嘉吉 著

本体価格32,000円+税

B5 判上製函入 本文 580 頁 挿図 383 点 ISBN 978-4-8055-0763-6 C3052

目次

第一篇 法隆寺の建築と年代

- 一 法隆寺の建築
- 二 聖徳太子と斑鳩の寺
- 三 西院伽藍と法隆寺式建築様式
- 四 法隆寺金堂・五重塔・玉虫厨子
- 五 法隆寺新再建論
- 六 世界最古の木造建築 法隆寺金堂
—最新の研究から—
- 七 西院伽藍の造営と金堂壁画
- 八 建築から見る斑鳩の寺々
- 九 再考法隆寺と山田寺

第二篇 古代伽藍の配置と建築

- 一〇 古代寺院の発掘
- 一一 興福寺の伽藍
—奈良時代伽藍の再検討—
- 一二 古代寺院の伽藍計画
- 一三 地方寺院の成立と展開
- 一四 南都の大寺—建築の様式とその展開—
- 一五 二重屋根の仏堂建築
- 一六 薬師寺新移建論—西塔は移建だった—
- 一七 唐招提寺創建期の建築
- 一八 唐招提寺金堂
- 一九 唐招提寺講堂
- 二〇 元興寺極楽坊五重小塔
- 二一 室生寺五重塔
- 二二 室生寺金堂
- 二三 東寺の建築（総説）
- 二四 醍醐寺の建築（総説）

第三篇 日本建築の様式と技術

- 二五 日本美術時代概説「建築」
—古代・中世・近世—
 - 二六 国宝概説—日本建築の発展と特質
 - 二七 建築の技術とその背景
 - 二八 古代建築の構造
 - 二九 古代建築の構造と技法
—法隆寺建築を中心として—
 - 三〇 和様建築の成立
 - 三一 南都の新和様建築
 - 三二 伝統構法の歴史（概説）
- 図版リスト
あとがき

【著者略歴】

鈴木嘉吉（すずき・かきち）

一九二八年 東京生まれ
一九五二年 東京大学工学部建築学科卒業
奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部長
文化庁文化財保護部建造物課長 同文化財監査官
奈良国立文化財研究所長
(財)文化財建造物保存技術協会理事

〔主要著書〕

『奈良時代僧房の研究』
『日本古寺美術全集』五「興福寺と元興寺」（共著）
『日本の美術』六五「上代の寺院建築」
『奈良の寺』二「法隆寺西院伽藍と西院諸堂」
『不滅の建築』（共著）
『大和の古寺』三「元興寺極楽坊・般若寺・十輪院」他

本書をお薦めする方々

日本建築史、住宅建築史、日本仏教史の研究者・研究室／
博物館・郷土資料館・学芸員／各都道府県・市町村教育委
員会／宮大工・社寺建設業関係者／寺院関係機関・関係者
／大学・公共図書館など

好評発売中

2016年4月刊行

鈴木嘉吉建築史論集

古代寺院僧房の研究

鈴木嘉吉 著

本体価格25,000円+税

B5 判上製函入 本文 420 頁 口絵 16 頁 図面 95 点 挿図 56 点 ISBN 978-4-8055-0762-9 C3052